

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

高等学校課（内線：7916）

5目 教育振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)地域を担う人材育成事業	2,297	0	2,297				2,297	

トータルコスト 22,467千円（前年度0千円）〔正職員：2.5人〕

主な業務内容 検討委員会開催、講師依頼・打ち合わせ・授業実施、教職員の研修派遣

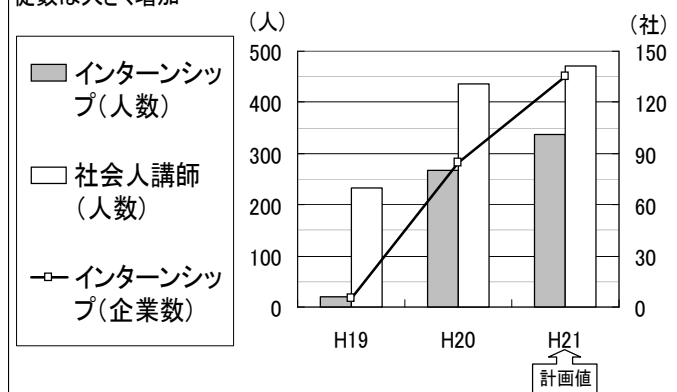
工程表の政策目標(指標) 児童生徒の目的意識の育成、カリキュラム改善

事業内容の説明

1 事業の概要

地域産業の担い手となる人材育成のため、具体的施策を立案・実施するための産業界と学校のネットワークを構築し、地元産業界からの講師の招聘や教員の地元企業での研修等の連携した取組みを実施する。

地域産業の担い手プロジェクト(国費事業H19～H21)により工業高校への協力企業数やインターンシップ参加生徒数は大きく増加



地域を担う人材育成事業 (単県事業H22～)

▶ 教育界と産業界とのネットワークを継続して維持（工業以外の学科においては、新たにネットワークを構築）することにより、経済・産業情勢の変化に、教育を迅速に対応させる。

▶ 学校への社会人講師の招聘や、生徒・教員の企業研修を継続して実施することにより、生徒や教員に産業界の実際を理解させ、意欲と技能を高める。

↓  
生徒が学校から産業界へ円滑に就職していくことに寄与

2 事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	内容
県ネットワーク会議の開催	112	県域での人材育成の在り方を産業界、高等教育機関、高校、行政が一堂に会して協議 産業界委員8人、大学委員2人
各学校ネットワーク会議の開催	735	地域の産業界の担い手を育成するために、地域の産業界と連携して各学校（専門高校9校）に応じた教育プログラムを設定し、常にその内容を見直す取組を実施
社会人講師の導入	800	補習授業や技術クラブ等において、優れた技能者による実践的な指導を実施
教員研修の実施	350	教員が生徒を指導するために必要な技術・技能を高めることを目的に、地元企業で研修を実施 受入企業 10社、派遣教員30人
共同研究	300	学校と企業、または各学校間で連携して共同研究を実施

3 これまでの取組状況、改善点

平成18年度から地域産業界と連携して、教育プログラムの改善や学校を支援していただける体制の確立を図るための取組を進めている。（地域産業との連携による産業教育充実事業、地域産業の担い手育成プロジェクト事業、実践的起業家教育(アントレプレナー)推進事業)

これらの取組を推進する事業を一本化し、一層の推進を図る。